

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

奈良県 大淀町

自治体名：奈良県大淀町

担当課名：教育委員会 社会教育課

電話番号：0747-52-5549

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	38.10 km ²
人口	16,297 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	363 人
部活動数	10 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	部活動地域移行推進協議会設置 令和6年7月1日
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	奈良県学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインを遵守する

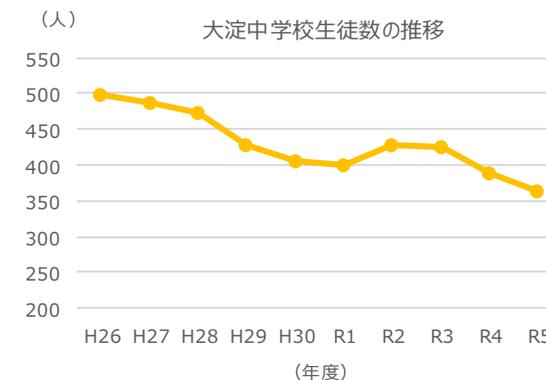
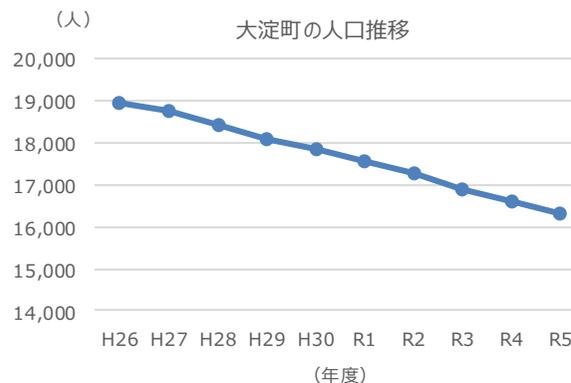
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

大淀町の人口は16,297人（令和5年6月1日現在）で、本町における中学校は大淀中学校が唯一の学校であり生徒数363名の規模である。部活動は運動部10種目、文化部6種目の合計16種目が活動しており、部活入部者は290名（入部率は79.9%）で、各部活動については複数顧問制としている。

このような状況にあるなか、大淀中学校においては本町の人口減少などに伴い、生徒や教師が減少傾向にあつて、現在、部員の減少及び部活動の指導には担当する種目の競技経験・指導経験のない教師が顧問をせざるを得ない状況

が生じており、徐々に部活動を維持することが困難な状況となっている。

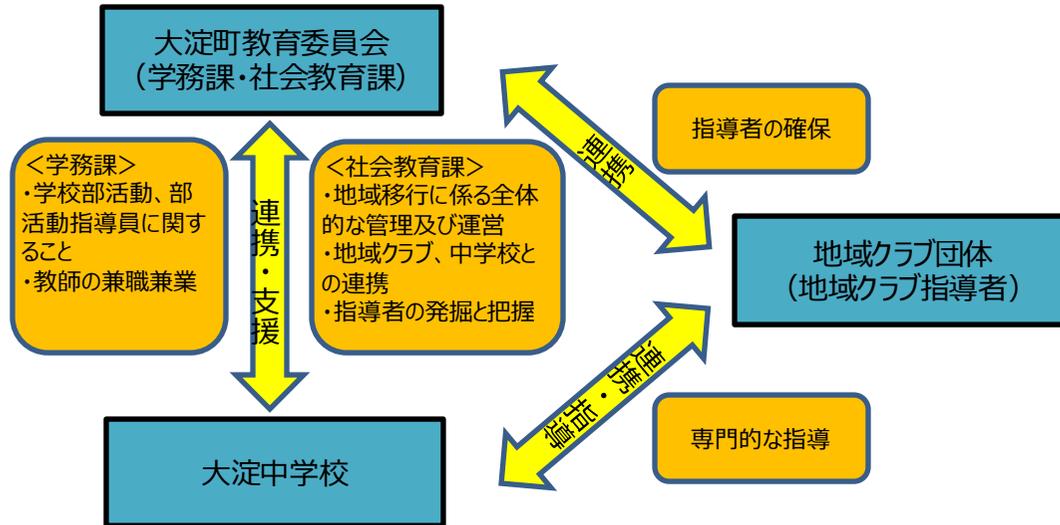
そして、少子化は今後さらに進展すると見込まれる一方で、本町には地域移行の受け皿として担ってくれる総合型地域スポーツクラブなどの団体が設置されていないため、指導者の確保が困難であると容易に予想できたことから、早期に地域移行への取組みを進める必要があつた。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

社会教育課

総括的なコーディネーター役を担い、指導者・活動場所の確保、中学校と地域クラブとの連絡調整等を行う。

学務課

学校部活動、部活動指導員、教師等の兼職兼業等に関する業務を行う。

年間の事業スケジュール

令和6年4月

地域クラブ活動参加予定の生徒及び保護者への説明会の実施
令和5年度地域移行した運動部活動の継続実施

令和6年5月～9月

新規種目の運動部活動の地域移行の開始

令和6年8月

地位クラブ指導者研修会の受講

令和7年1月

地域クラブ参加の生徒・保護者等へのアンケート調査の実施

令和7年2月

事業完了報告書、成果報告書等の作成

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（剣道部）
	B：部活動にはない種目など、新規のクラブ数		0 クラブ
全体の指導者数	2 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
大淀中	大淀クラブ (仮称)	大淀町 運営型	剣道	・平日 0 回 ・休日 39 回	午前中 9時～12時	3年 6人 2年 2人 1年 7人	令和6年 4月～ 令和7年 3月	2 人	2 人 (内、兼務0 人)	0 円 /年額	中体連：部 活動

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

令和5年度より継続的に実施している取組の継続（本町の地域移行におけるモデル的な取組として、以前より教育委員会とスポーツ大会・スポーツ教室で交流のあった地域クラブに休日の学校部活動（練習）の受け皿として依頼し、土曜日の部活動について地域クラブの指導者（2名）により指導いただくこととなる。なお、活動場所は社会体育施設を使用する。

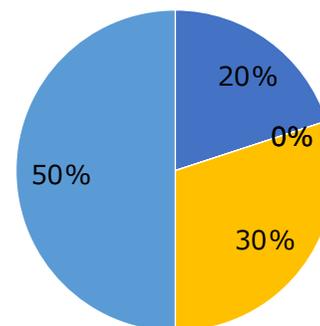
今年度新たに2つ（陸上部、卓球部）のクラブについて、実証事業を行う予定としていたが、地域移行推進協議会をつくり協議を行う中で、前年度から継続している事業の課題として学校以外の場所でクラブ活動を行うことで、生徒や保護者の負担が増加することがあり、地域移行クラブの活動場所については学校内で行うことが望ましいという意見から、2つのクラブ（野球部、バレーボール部）において学校内で地域指導者が活動（指導）する場合の問題等の検証を行うこととなった。

取組の成果

当初、平日の部活動と休日の部活動において指導者が異なることについて、生徒がスムーズに受け入れることができるのか懸念していたが、参加した中学生にアンケートを実施した結果、8割の生徒が「指導者への不安はない」という結果であったため、比較的スムーズに移行できたものとする。また、担当顧問（教師）の残業時間が月平均7.8時間削減し、課題の一つとなっていた学校の働き方改革に寄与することができた。

〈地域クラブ指導者への不安度〉

■ 不安 ■ やや不安 ■ どちらでもない
■ あまり不安なし ■ 不安なし



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本町におけるモデル事業として、令和5年度より継続的に実施している取り組みの継続（本町の地域移行におけるモデル的な取り組みとして、以前より教育委員会とスポーツ大会・スポーツ教室で交流のあった地域クラブに休日の学校部活動（練習）の受け皿として依頼し、土曜日の部活動について地域クラブの指導者（2名）により指導いただく。なお、活動場所は指導者の在籍しているクラブの活動場所である社会体育施設を使用する。

今年度新たに2つ（陸上部、卓球部）のクラブについて、実証事業を行う予定としていたが、地域移行推進協議会を設置し、協議を行う中で前年度から継続している事業の課題として学校以外の場所でクラブ活動を行うことで、生徒や保護者の負担が増加することがあり、地域移行クラブの活動場所については学校内で行うことが望ましいという意見から、2つのクラブ（野球部、バレーボール部）において学校内で地域指導者が活動（指導）する場合の問題等の検証を行うこととなった。

●成果の評価

当初、平日の部活動と休日の部活動において指導者が異なることについて、生徒がスムーズに受け入れることができるのか懸念していたが、参加した中学生にアンケートを実施した結果、8割の生徒が「指導者への不安はない」という結果であったため、比較的スムーズに移行できたものとする。

また、担当顧問（教師）の残業時間が月平均7.8時間削減し、課題の一つとなっていた学校の働き方改革に寄与することができた。

●今後に向けて

地域クラブ活動は学校部活動の教育的意義を継承していることや勝利主義につながることをないように、地域クラブの指導者や住民の方々に理解いただく必要がある。

また、活動場所が中学校と少し離れた社会体育施設を使用しているため、移動手段に不便さがあって参加する8割の生徒が保護者による送迎であり、保護者の負担軽減について検討する必要がある。

地域クラブ指導者を早期に発掘・把握し、他の学校部活動についても地域移行の取り組みを進める方針である。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



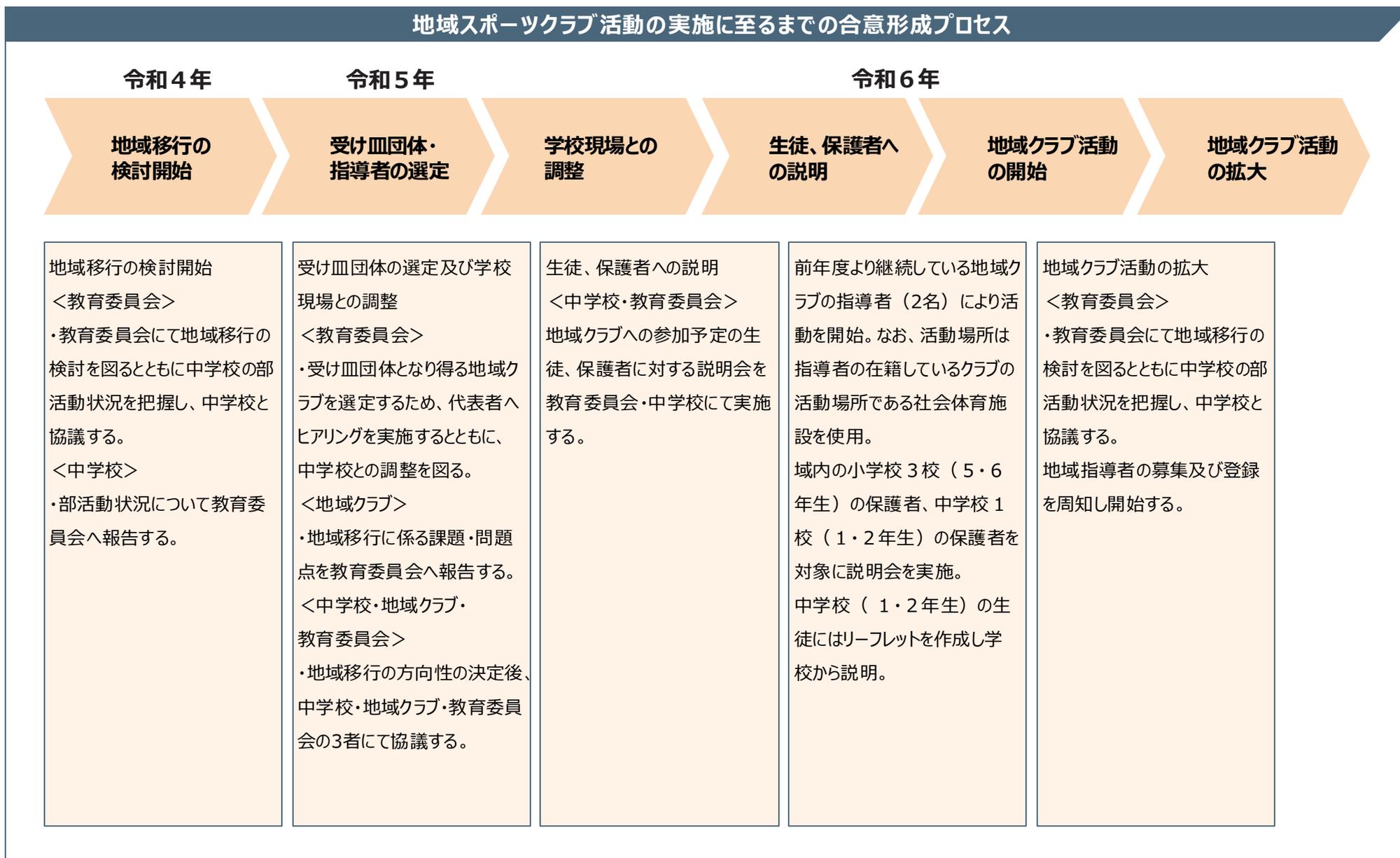
【地域クラブによる活動状況】



【指導者へ打ち込み練習する部員たち】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

【地域移行イメージ】

【町が検討する事項】

1 スポーツ・文化芸術団体の整備・充実

2 指導者の質・量の確保の方策

3 施設の確保の方策

4 会費の在り方

5 保険の在り方

6 関連制度の在り方

令和7年度まで

平日 (教 員)
休日 (教 員)

令和8年度から

平日 (教 員)
休日 (地域指導者)

(将 来)

平日 (地域指導者)
休日 (地域指導者)

令和6年7月1日
大淀町部活動地域移行
推進協議会設立

令和7年4月1日
大淀町地域クラブ設立
指導者登録申請開始

大淀町地域クラブ部指導
者のマッチングを開始

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

奈良県下市町

自治体名：奈良県下市町

担当課名：下市町教育委員会

電話番号：0747-52-1711

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	61.99 km ²
人口	4419人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	67人
部活動数	3部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置しない
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

下市町においては、少子高齢化が進み生徒の数も減少してきており、それに伴い部活動に参加する生徒も年々減少していることから、部活動の存続を危ぶまれてきている状況にあった。生徒の活動の場を継続し、文化・スポーツ活動を持続可能なものにするため、休日の活動を地域移行とした。

図1. 今後の生徒数推移

下市あきつ学園(後期課程)生徒数 予想				
年度	7年生	8年生	9年生	合計
R5	18	27	22	67
R6	26	18	27	71
R7	21	26	18	65
R8	21	21	26	68
R9	21	21	21	63
R10	16	21	21	58

図2. 令和4年度下市中学校部活動加入者数

部活動名	1年生		2年生		合計
	男子	女子	男子	女子	
英語&美術(男女)	2	2	1	2	7
音楽部(男女)	0	1	0	0	1
野球部(男女)	0	0	0	0	0
陸上部(男女)	8	4	12	2	26
卓球部(男女)	6	2	1	0	9
水泳部(男女)	0	1	0	2	3

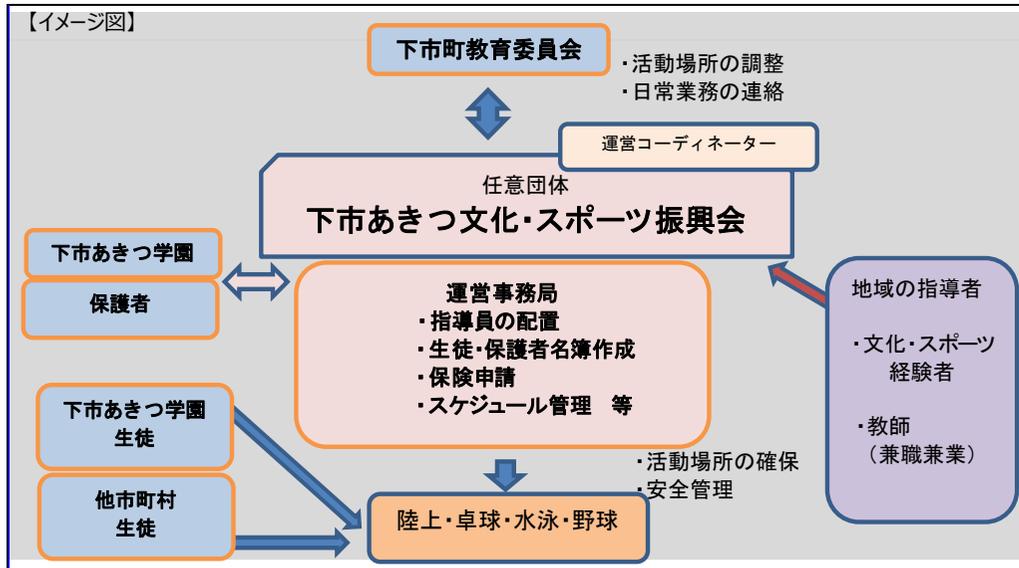
※いずれの資料も下市町教育委員会事務局調べ

2.実証内容と成果

運営体制・役割

年間の事業スケジュール

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・下市あきつ文化・スポーツ振興会との連絡調整等

◎首長部局

- ・下市あきつ文化・スポーツ振興会への活動助成

令和6年4月

第1回打合せ会（指導員と部活動顧問による指導計画の作成等）

令和6年4月

下市あきつ文化・スポーツクラブ保護者説明会

令和6年5月

地域スポーツクラブ活動の活動開始（陸上競技、卓球、水泳）

令和7年3月

下市あきつ文化・スポーツ振興会議の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	7人	全体の運営スタッフ数	7人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
下市あきつ陸上クラブ	下市あきつ文化・スポーツ振興会	陸上	月4回	月3時間	3年生/8名 2年生/3名 1年生/5名	4月～3月	下市あきつ学園グラウンド	3人	3人 （内、兼務0人）	月会費500円	地域クラブ
下市あきつ卓球クラブ	下市あきつ文化・スポーツ振興会	卓球	月4回	月3時間	3年生/6名 2年生/7名 1年生/1名	4月～3月	下市あきつ学園体育館	2人	02人 （内、兼務0人）	月会費500円	地域クラブ
下市あきつ水泳クラブ	下市あきつ文化・スポーツ振興会	水泳	月4回	月3時間	1年生/2名	4月～3月	下市あきつ学園プール	2人	2人 （内、兼務0人）	月会費500円	地域クラブ

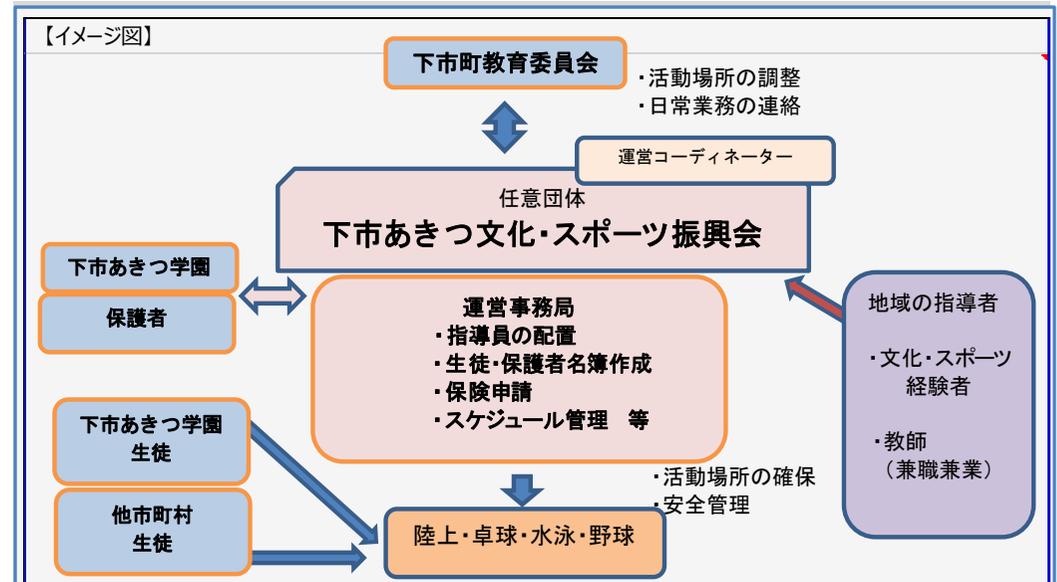
2.実証内容と成果

主な取組例

● 下市あきつ文化・スポーツ振興会クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上、卓球、水泳
運営団体名	下市あきつ文化・スポーツ振興会
期間と日数	陸上クラブ：月4回程度 卓球クラブ：月4回程度 水泳クラブ：7月～9月（月4回程度）
指導者の主な属性	スポーツ経験者等
活動場所	下市あきつ学園
主な移動手段	車や公共交通機関
1人あたりの参加会費等（年額）	1人6,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,450円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- あきつ文化スポーツ振興会会長
役割：クラブ指導員の指導を行う
- 運営コーディネーター
役割：学校と協議会の連絡調整やクラブ指導員の指導を行う
- 主任指導者 7名
役割：各クラブ員の指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

運営コーディネーターを配置して下市あきつ文化・スポーツ振興会と学校との連絡調整を行う。

取組の成果

部活動の地域移行を実施するにあたり、平日に実施している部活動との連携が必要となってくるが、コーディネーターを配置することで学校、部活動の顧問、教育委員会、下市あきつ文化・スポーツ振興会の橋渡し役となり、スムーズな移行を実施できた。

7. あなたはクラブ活動の指導員から指導を受けることで、どのようなことを期待しますか。次のうち、最も当てはまるものを1つ選択してください。



出典：地域移行アンケート結果

コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターに関しては、学校の教職員との連携を図るため、平日に業務を実施してもらうことがあった。部活動との連携を図り、指導に一貫性を持たせることで参加する生徒も違和感なく地域移行後のクラブに参加できるため、来年度以降も引き続き連携、すり合わせを実施していきたい。

今後の課題と対応方針

下市あきつ文化・スポーツ振興会の各クラブの指導員と学校部活動顧問との更なる連携

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

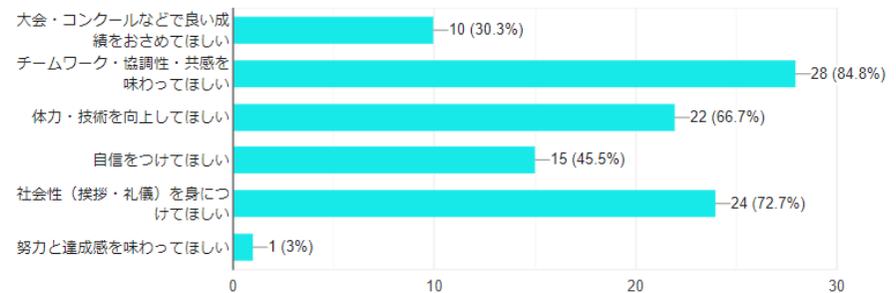
●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

児童生徒及びその保護者に対するアンケートの実施
 保護者からは、チームワーク・協調性・共感を

活動の詳細			
参加人数	32人	指導者数	7人
属性	クラブ活動に参加している（参加見込み）の生徒及び今後参加予定の児童及び保護者		
具体的な内容	クラブ活動への参加動機、クラブ活動に求めているもの、指導員に対して求めているもの、他クラブ（民間）クラブへの参加の有無		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ●今の流行りで終わらず、継続的に続く活動にしてほしい ●部活をやってよかったと思う環境づくりも大切だと思います。 ●体力も鍛えてほしいです 		

部活動にどのようなことを期待していますか。あてはまるものすべてにチェックをつけてください。



出典：地域移行に関するアンケート（保護者）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



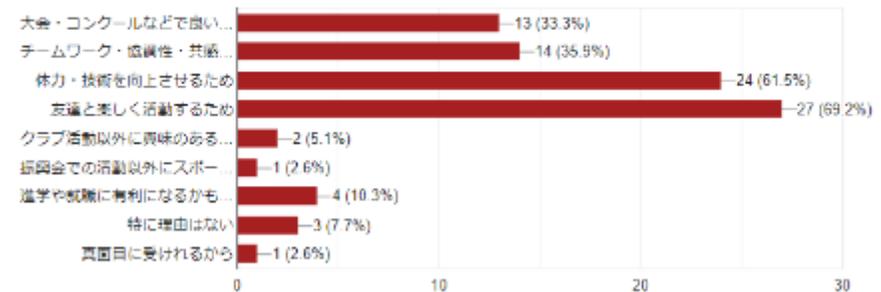
取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

義務教育学校の5～9年生の児童生徒及びその保護者に対し部活動の地域移行に関するアンケートを実施。生徒がクラブに参加する目的として最も多く挙げられていたものが「友達と楽しく活動するため」で69.2%、児童も同様の結果で38.9%が「友達と楽しく活動したい」と回答していた。

6. クラブ活動に参加している目的を次の項目から当てはまるものすべて選択してください。

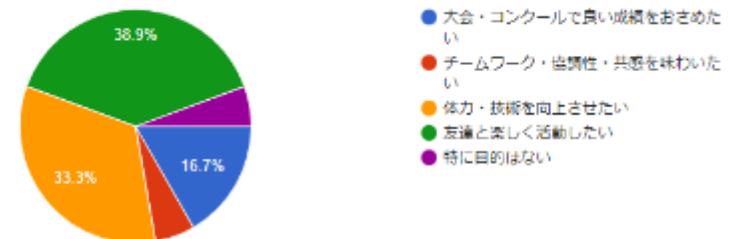


出典：地域移行に関するアンケート（生徒用）

今後の課題と対応方針

アンケートの割合で1番に「友達と楽しく活動するため」2番目に「体力・技術を向上させるため」が上がっており、来年度以降の指導方針として、過度な大会成績を求める指導より、生徒一人ひとりに合った指導、参加方法が求められていることが分かった。

クラブ活動に参加したい理由のうち、一番あてはまるものを選んでください



出典：地域移行に関するアンケート（前期高学年）

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和8年度の本格実施に向けて、下市町としての方針を関係者と共有することができた。

生徒の活動の場の継承と教職員の働き方改革の推進を念頭に、持続可能な場の整備を構築すると共に教職員の意思が尊重されるよう、兼職兼業の在り方についても学校と認識の共有を行った。

●成果の評価

施設や用具は下市あきつ学園の機材を利用することとしている。

施設の管理については、クラブ用の施設鍵を作成し、実施日当日、下市あきつ学園の管理下でなくても施設を使用できるようにしている。また、この鍵は平日、教育委員会が保管し、実施日当日は、クラブが借り受ける形で管理を行う。

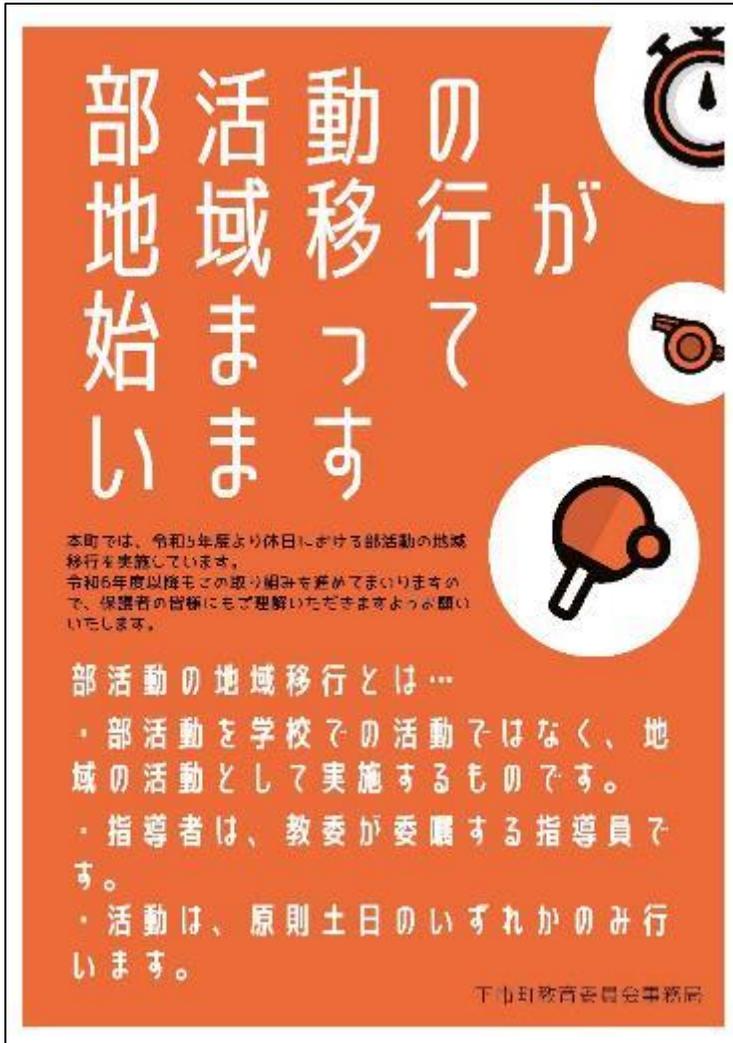
活動時間は厳密に設定し（3時間以内）それを遵守する。

関係者との連携については、専用のアプリを用意し登録を促すようにしている。

●今後に向けて

部活動の顧問とも定期的に打合せの場を持ち、平日と休日の連携・施設管理・保護者との連絡方法・教職員の兼職兼業・保険加入・責任関係などそれぞれの観点から協議を行い、地域移行化した後もできるだけ学校の負担とならないよう詳細に調整を行い持続可能な活動とする。。

アンケート結果・広報資料



**部の活動の行が
地域に移り
始まっす
いまます**

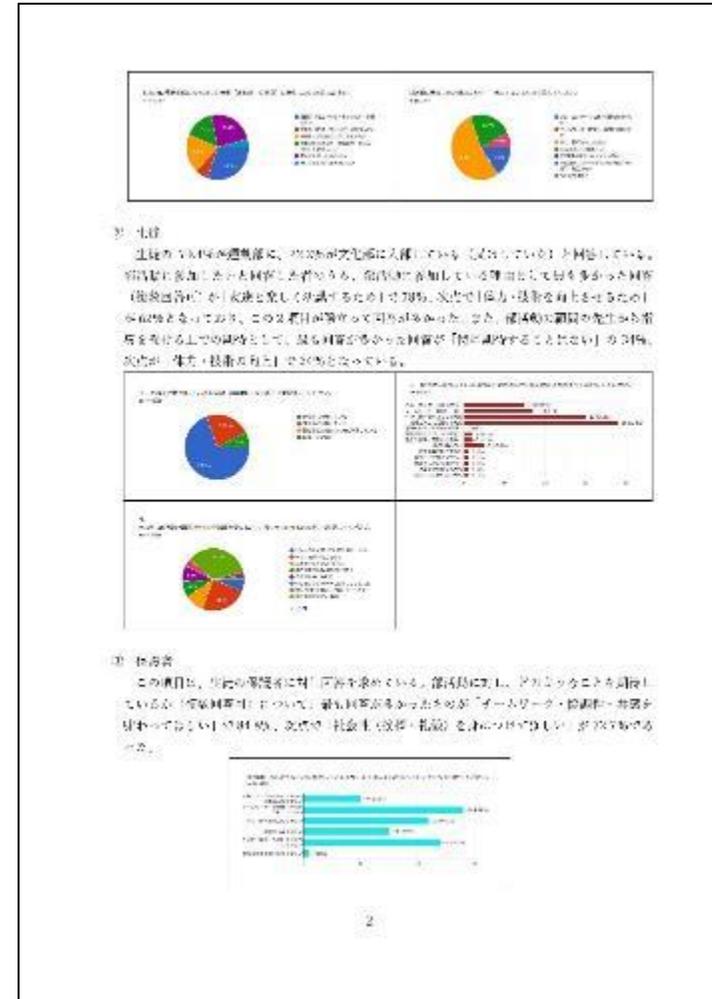
本町では、令和5年度より休日における部活動の地域移行を実施しています。令和6年度以降もこの取り組みを進めてまいりますので、保護者の皆様にもご理解いただけますようお願いいたします。

部活動の地域移行とは…

- ・部活動を学校での活動ではなく、地域の活動として実施するものです。
- ・指導者は、教委が委嘱する指導員です。
- ・活動は、原則土日のいずれかのみ行います。

下市町教育委員会事務局

【広報用チラシ】



① 実施状況

上記の3校の調査結果、各校が文化部に所属している（又はしている）部活動は、部活動に参加する生徒がある、部活動に参加している理由として最も多かった回答（複数回答可）が「友達と楽しく活動するための場所」であり、次いで「体力・技術を向上させるための場所」となっており、この2項目が際立って目立っていました。また、部活動の顧問が先生から前年を承ける上での同時として、最も回答が多かった回答が「部を継承することはない」であり、次いで「体力・技術の向上」の回答となっていました。

② 指導者

この項目は、各校の顧問に対して回答を求めている。部活動に対し、デジタルコンテンツを開設しているか（複数回答可）について、最も回答が多かったのが「ゲームリーグ・動画制作・音楽制作」であり、次いで「社会性（挨拶・礼儀）を身につけてほしい」が2校で最も多かった。

【アンケート結果（一部抜粋）】

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【卓球クラブ練習風景】



【陸上クラブ練習風景①】



【陸上クラブ練習風景②】



【陸上クラブ練習風景③】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

地域移行に向けて準備開始

- 下市あきつ文化・スポーツ振興会規約の作成
- 下市あきつ文化・スポーツ振興会指導員配置事業実施要項の作成
- 指導員の手引き作成

令和5年

下市あきつ文化・スポーツ振興会設立

- 下市あきつ文化・スポーツ振興会設立会を開催
- 下市あきつ文化・スポーツ振興会の教員向けの説明会の開催
- 下市あきつ文化・スポーツ振興会の保護者説明会を開催

令和6年

地域クラブ活動の開始

- 教員の兼職兼業の整理
平日クラブ活動の大会参加時、旅費（交通費）支給

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年度

令和7年度

令和8年度

他市町村との連携等について(受け入れを含め)検討

指導員の量・質の確保のため
人材確保の方策を検討